

日本青少年訪韓団（第1～2団）（派遣プログラム）の記録 （対象国：韓国，テーマ：日本の魅力発信及び日韓相互理解）

1. プログラム概要

日本の高校生等 100 名が韓国を訪問し、学校訪問、韓国文化体験、歴史的建造物の視察などを通して韓国への理解を深めるとともに、日本の魅力の発信等、日韓の相互理解と信頼関係の増進に寄与することを目的として活動しました。また、帰国前の報告会では、この経験を活かした帰国後のアクション・プランについて発表しました。

【訪問地】

韓国ソウル特別市，京畿道（城南市，水原市，龍仁市，華城市），全羅北道全州市，慶尚南道（山清郡，晋州市），釜山広域市

2. 日程

10月21日（日）仁川国際空港から入国

第1団：【講義】韓国語講座「サバイバルコリアン」

第2団：【視察】Nソウルタワー

10月22日（月）

【表敬訪問】国立国際教育院訪問

第1団：【視察】COEX アティウム，【学校訪問・交流】徳成女子大学，【講義】「日本人と韓国人の文化認識の差」

第2団：【視察】景福宮，明洞

10月23日（火）

第1団：【学校訪問・交流】亀巖高等学校（授業体験，日本の魅力紹介），ホームステイ

第2団：【視察】水原華城，

【学校訪問・交流】甫羅高等学校（授業体験，日本の魅力紹介），ホームステイ

10月24日（水）

第1団：【視察】DMZ 視察プログラム，

第2団：【地方視察】全州韓屋村，慶基殿，【文化体験】韓服試着，韓屋ステイ

10月25日（木）

第1団：【表敬訪問】在大韓民国日本国大使館 公報文化院，【視察】通仁市場，景福宮，光化門市場，【文化体験】韓服試着

第2団：【地方視察】山清東医宝鑑村，【学校訪問】晋州教育大学，【文化体験】伝統舞踊体験

10月26日(金)

第1団:【視察】サムスンディライト, 水原博物館, 水原華城

第2団: 成果報告会, 【地方視察】チャガルチ市場, 影島大橋跳開橋, 国際市場など

10月27日(土)

第1団: 成果報告会, 出国(仁川国際空港)

第2団: 出国(金海国際空港)

3. プログラム記録写真

第1団(訪問地: ソウル特別市, 京畿道)



10月21日【講義】韓国語講座「サバイバルコリアン」(ソウル特別市)



10月23日【学校訪問・交流】亀巖高等学校 授業体験(ソウル特別市)



10月24日【交流】ホームステイ解散式(ソウル特別市)



10月24日【視察】DMZ 視察プログラム(京畿道坡州市)



10月25日【表敬訪問】駐大韓民国日本国大使館公報文化院（ソウル特別市）



10月25日【視察】通仁市場（ソウル特別市）



10月26日【視察】サムスンディライト（ソウル特別市）

10月26日【視察】水原博物館（京畿道水原市）

第2団（訪問地：ソウル特別市，京畿道，全羅北道，慶尚南道，釜山広域市）



10月22日【表敬訪問】韓国国立国際教育院（京畿道城南市）

10月22日【視察】景福宮（ソウル特別市）



10月23日【学校訪問】甫羅高等学校 日本の魅力紹介（京畿道龍仁市）

10月23日【学校訪問】甫羅高等学校 授業体験（京畿道龍仁市）

	
<p>10月24日【交流】ホームステイ解散式 (京畿道龍仁市)</p>	<p>10月24日【文化体験】韓服試着(全羅北道全州市)</p>
	
<p>10月25日【視察】山清東医宝鑑村(慶尚南道山清郡)</p>	<p>10月25日【文化体験】伝統舞踊(慶尚南道晋州市)</p>

4. 参加者の感想(抜粋)

◆ 日本 高校生

・訪韓前は韓国について無知で、どちらかといえば少し怖いイメージを抱いていたが、韓国の歴史や文化、人々と触れ合ったことで、日本と結構似ているところがあると感じた。日韓パートナーシップ宣言から20年がたった今でも韓国に偏見を持っている日本人はまだ沢山いると思うので、私たちが中心となって「実際の韓国」を伝えたい。

・日本人が歴史上の出来事のコアまでしっかりと理解すれば、今よりも分かり合え、日韓両国の相互理解が深まるのではないかと思った。日本は平和で安全な国だから大丈夫という強い安心感を持って、つい過去の出来事や自分たちの未来について考えることを怠っていると思う。このような学びを得た私自身が主体となって、帰国後も日韓両国について理解を深めて行きたいと思う。

・最も印象に残ったのはDMZの視察だ。北朝鮮と韓国の国際情勢や両国が抱える問題について学ぶ良い機会となった。第3トンネルなどの施設見学や様々な訪問地に行くことにより、韓国史に興味を抱いたので、これから歴史を学び発信していきたい。

・韓国の生徒は非常に積極的で、意欲的に学習に取り組んでいることを知った。訪問し

た高校の英語の授業では生徒が積極的に前へ出て発表していたし、毎日遅くまで学校で勉強すると聞いた。日本人は消極的になりがちだが、自分の意見を持ち、積極的に行動することは学習面だけでなく、異文化を理解していく上でも非常に重要な姿勢なので、自分自身も積極的に行動し、引き続き両国の魅力を発信していきたい。

・日韓両国は歴史的背景により、様々な問題に直面することがあるが、直接交流してみると、今まで知らなかった韓国人や韓国文化の素晴らしさを知ることができるのだと、強く感じた。韓国人の人情や生活の知恵など、普段、なかなか知ることのできない体験ができて本当に良い機会になった。直接触れ合うことで、国同士の問題を超えて、人間対人間として接することで見えてきた韓国というものがあつた。

・プログラムを通して、韓国語を使う機会に恵まれ、言葉を話す楽しさや通じることの嬉しさ、また、文化や人の温かさを身をもって感じた。それによって、自分に自信がついたし、韓国への見方を変えることができた。もっと積極的に海外に出て自分の視野を広げようという、勇気も出てきた。

・韓国の方々は、とても優しくフレンドリーで日本に興味をもっている人が多いという印象をもつた。この訪韓で、韓国に対するイメージが変わり、高校卒業後に再び研修や留学で来たいと思った。また、韓国語をちゃんと勉強し、日本に訪れた韓国人に韓国語で日本を案内したり、日本の歴史や文化・魅力を伝えられたりできるようになりたい。

5. 受入れ側の感想

◆ 受入れ事務局

・一般的な旅行では感じられない韓国を紹介でき、日韓双方にとって意義深い経験となった。団員らが積極的に笑顔でプログラムに参加してくれ、やり甲斐を感じた。成果報告会で団員の多くがPOPカルチャーに限らず、韓国語や伝統文化、歴史にも興味を持つようになったと発表しており、意味のあるプログラムだと感じた。敏感な問題が両国にあることは否めないが、大勢の人が日本に興味を持っており、関係改善のために様々な活動をしている。自分も文化を勉強したり、交流したりすることで、日韓の架け橋になると信じている。個人が努力すれば、社会や国は変化する。団員らも架け橋になりたいと発表しており、未来は明るいと感じた。

◆ 訪問校関係者

・学校訪問とホームステイの受け入れの準備は大変であったが、終わってみると、これまでの日韓両サイドの準備のための努力が、いかに重要で意味のあることかに気づいた。日本側の団長が挨拶で言った通り、若い世代は変化し、互いに近づいている。我々はより良い未来のために、互いに良い仕事をしたと信じている。日本側が準備した日本紹介のプレゼンテーションを含め、団員と引率の先生方の協力と努力に感謝する。生徒から届いた報告書によると、日本の生徒は信じられないくらい礼儀正しく、思慮深く、マナーが良く、協力的で、親しみやすく、一泊二日の交流では時間が足りなかったと書いている生徒が多かった。これにより放課後も充実した時間を過ごしていたことが分かった。

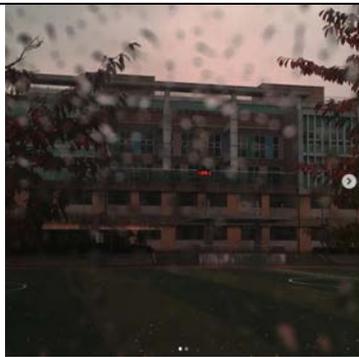
・沖縄の生徒のみなさんはとても純粋で優しく、本校の先生方や生徒たちの反応もとてもよかった。韓国語が上手な生徒さんもたくさんいたので、コミュニケーションも問題なく過ごせたようだ。一泊二日という短い時間ではあったが、ホームステイのお別れのときは、とても寂しそうで、みんなと一緒に沖縄に遊びに行くと言っていた。

◆ ホームステイホストファミリー(高校生)

・受入れをした生徒は英語も韓国語もあまりできず、最初は困り、自分の下手な日本語と翻訳アプリで過ごしたが、その生徒は街でアイドルの歌が流れると完璧な韓国語で歌ったので驚いた。寝る時には、あれもこれもしてあげればよかったと悔いが残った。一日中、一緒に過ごす緊張感と不安感はいつの間にか消え、自分が楽しんでいて、良い経験になった。日本は近くて親近感を抱いていたが、一方、ニュースを見て遠いと感じる国だった。しかし今回の受入れで、日本の友達も周りの友達と全く同じだと気づいた。私たち青少年がこのようにお互いへの偏見をなくし、好意的な気持ちで歩んでいけば、日本と韓国は遠からず、必ず良い友達関係、隣国関係になれると信じるようになった。

6. 参加者の対外発信

 <p>♡ 👁 🗑 📌</p> <p>chinatsu.s0817 私達三高生は、岩手県訪韓団の代表として、岩手県の魅力や学校生活を韓国の高校生に紹介しました。私は、日本の学校生活について紹介しました。この場を借りて日本と韓国の高校生活の違いを紹介したいと思います。韓国の高校は授業が16時～17時に終わります。その後、スタディールームに場所をかえて22時まで自習します。私達訪韓団に引率してくれている韓国の大学生に、高校時代平日にどのくらい勉強していたのかと聞くと、8時間はやっていたと言っていました。私はこれを聞いた時、部活とどのようにして両立しているのだろうか？と疑問に感じました。すると、勉強時間を確保するために、日本のような運動部はない、と教えてくれました。あったとしても、英語部などの塾のような部活しかないそうです。韓国は母国語の他に英語が話せると有名です。実際、韓国の中間の英語力は、日本の中三と同等だと言われています。制服は、皆自分の好きなように着こなし、おしゃれを楽しんでいるようでした。</p>	 <p>♡ 👁 🗑 📌</p> <p>sati.stray14 私は韓国のホームステイ先で抹茶を作り、日本の文化を伝えてきました。和菓子と一緒に味わってもらいました。とてもいい経験になり嬉しかったです。</p> <p>#韓国 #抹茶 #ホームステイ #JENESYS2018 #日本青少年訪韓団第1団 #日韓文化交流基金 #일한문화교류기금</p>
<p>【学校訪問に関する発信】 私達三高生は、岩手県訪韓団の代表として、岩手県の魅力や学校生活を韓国の高校生に紹介しました。私は、日本の学校生活について紹介しました。-中略- 韓国の高校生は授業が16時～17時に終わります。その後、場所をかえて22時まで自習します。私たち訪韓団に引率してくれている韓国の大学生に、高校時代平日にどのくらい勉強していたのかと聞くと、8時間はやっていたと言っていました。私はこれを聞いた時、部活とどのようにして両立しているのだろうか？と疑問に感じました。すると、勉強時間を確保するために、日本のような運動部はない、と教えてくれました。あったとしても英語部などの塾のような部活しかないそうです。-以下省略-</p>	<p>【ホームステイに関する発信】 私は韓国のホームステイ先で抹茶を作り、日本の文化を伝えてきました。和菓子と一緒に味わってもらいました。とてもいい経験になり嬉しかったです。</p>

 <p>jeoneys2018_korea_c・フクローザル</p> <p>jeoneys2018_korea_okinawa アクションプラン</p> <p>hanu_taniguchi 企画委員 @fukuroza</p> <p>韓国人の方は日本についての関心があまりない、外国人への対応があまり良くないなどの偏見を多少持ったまま韓国に来ました。ところが実際はボラ高校でのプレゼンでもすごく良い反応をしてくれ、行く先々でもオンドルのようなすごく優しい暖かさがありました。だからこのリアルな韓国を帰国後、しっかりみんなに伝えたいと思います。</p>	 <p>gye0nja ・フクローザル</p> <p>gye0nja 10/25(木)20時45分くらいから一緒に過ごせたことに感謝するのを幸い書いてみるかな。</p> <p>最後に2018のフクローザルさんが日本語で感謝の気持ちを伝えてくれて本当に感動だった。韓国へ行ってからずっと感じていたことが一つになった気がした！！お互いが感じていた事は一緒だったんだなと。若者同士の交流はすごく濃くて、すごく良い経験ができたと思う！！次は韓国語で話したい！！また目標が出来た！！！！</p> <p>2018年 10月 25日</p> <p>#jeoneys2018 #日本青少年訪韓団2018 #韓国留学 #留学 #韓国 #韓国語 #韓国文化</p>
<p>【アクション・プランについての発信】</p> <p>韓国人の方は日本についての関心があまりない、外国人への対応があまり良くないなどの偏見を多少持ったまま韓国に来ました。ところが実際はボラ高校でのプレゼンでもすごく良い反応をしてくれ、行く先々でもオンドルのようなすごく優しい暖かさがありました。だからこのリアルな韓国を帰国後、しっかりみんなに伝えたいと思います。</p>	<p>【ホームステイについての発信】</p> <p>最後に日本語で感謝の気持ちを伝えてくれて本当に本当に感動だった。違う国に住んでいて、違う言葉を話していてもお互いが一つになれた気がした！！お互いが感じていた事は一緒だったんだなと。若者同士の交流はすごく濃くて、すごく良い経験ができたと思う！！次は韓国語で話したい！！また目標が出来た！！！！ありがとう。</p>

7. 報告会にて帰国後のアクション・プラン発表

	
<p>帰国前、一行は成果報告会を行い、今回の日程における各種視察や交流、ホームステイを通じて得た成果の共有と帰国後のアクション・プランについて発表した。具体的なアクション・プランの例は、下記の通りである。</p> <p>「全校生徒の前で訪韓の成果についての発表会を行う」「次に会う時は韓国語で会話ができるように語学の勉強を続ける」「学校に報告書を掲示する」「日韓がどういう経緯で現在の関係になったかもっと学びたいと思ったのでこれから歴史をより深く勉強する」「韓国の友達やホームステイの家族たちと連絡を取り続けて、日本のことをもっと伝えていきたい」「日韓関係の事業やボランティアがあったら、積極的に参加したい」「自分自身も韓国人の学生のように積極的に行動していきたい」「日本の友人や韓国のホストファミリーに日韓両国のことを発信し、お互いに訪問し合えるような関係作りをしていく」「共通の趣味でパディと仲を深め、日本文化を伝え、交流し、日本のイメージアップを図る」など、日韓の相互理解への積極的な意見が出された。</p>	

(了)